



# HORIBA

Explore the future

第 **75** 期

報 告 書

2012年1月1日~2012年12月31日



株式会社 堀場製作所



## PART 1 2012年度連結業績について

### 円高や景気減速が響き減収に

2012年度におけるHORIBAの業績は、売上高が1,176億900万円(前期比4.7%減)、営業利益が117億5,100万円(同21.2%減)、経常利益が113億5,300万円(同22.3%減)、当期純利益が73億9,600万円(同14.6%減)となりました。

分析・計測機器業界では、国内外の自動車メーカーによる設備投資や研究開発投資には回復の兆しが出てきたものの、半導体メーカーなどの投資一巡に加え、円高や景気減速などから、製品全般において需要縮小や価格の下落傾向が続きました。

このような状況のもと、HORIBAでは、経営

戦略本部による事業改革を推し進め、市場ニーズに合った製品の市場投入を加速させました。

また、収益改善策として、シェアドサービス(複数の組織で共通に持っている機能を集約することによる効率化・専門化)の推進のほか、自動車の運行管理システムなどを手掛けるホリバアイテックの吸収合併や、拡大する市場での販売拡大をめざし、米州において組織改編を行いました。こうした経営施策に加え、販売拡大に努力したものの、円高やお客様メーカーの生産調整などから減収減益となりました。

#### ごあいさつ

オーナー(株主)の皆様には、平素より格別のご支援を賜り誠にありがたく厚くお礼申しあげます。

ここに事業の概況と今後の諸施策につきましてご報告いたします。

代表取締役会長兼社長

堀均厚

#### 連結業績の概要

(単位:億円)



HORIBAでは「中長期的な視点で投資いただきたい」という想いから、従来の単なる株式の所有者である「株主」という言葉よりも、「会社の所有者」すなわち「オーナー」という表現がふさわしいと考え、表現を統一しています。

## 2013年の重点投資事業

2015年度を目標年度とする中長期経営計画では、連結売上高1,500億円、営業利益率13%以上、ROE(自己資本当期純利益率)11%という目標を掲げ、計画達成へ向けて様々な施策を推し進めています。特に注力する医用事業では、試薬工場の投資を中心に積極的な拠点整備を進めています。2013年度中には、日本、フランス、ブラジル、中国に続く5カ国目の生産拠点として、

インドにおいて新たに試薬工場が完成します。これまでフランスから供給していた試薬を現地で生産することにより、運送費や保管コストの削減を図ります。今後、発展することが期待されるインドの医療関連市場において、試薬の利益水準を向上させ、高収益を獲得できる体制を整えていきます。

中長期経営計画の達成に向けて、経営方針である「HORIBA Group is One Company. (HORIBAグループは一つの会社)」をベースに、投資効率を改善し、利益の最大化と継続的な企業価値創造に全力を傾注する所存でございますので、オーナー（株主）の皆様におかれましては、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。





# 2013年1月26日に 創立60周年を迎えました

これもひとえにオーナー（株主）の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様のご支援、ご指導の賜物と心より感謝申し上げます。

## 創立60周年記念式典を開催

2013年1月26日に国立京都国際会館において創立60周年記念式典を開催しました。記念式典では、国内グループ会社全拠点と16カ国の海外グループ会社から約2,500名の従業員が一堂に集いました。

式典は、「先達から次世代へ、世界へおもいをつなぐ」というコンセプトのもと、

「TASUKI ～おもいをつなぐ～」をテーマに立ち上がった60周年記念活動の成果発表、ライブ中継による海外拠点世界一周、経営トップによる未来への宣言など、あらためてHORIBAのフィロソフィーと歴史、これからの方向性を全員で共有する大変有意義なものとなりました。

また、当日の昼食は「グローバル鍋パーティー」を開催。社は「おもしろおかしく」、「HORIBA Group is One Company. (HORIBAグループは一つの会社)」の方針を具現化するため、HORIBAグループの拠点がある国や地域をテーマにした12カ国14種類の鍋を全員で囲みました。



創立60周年記念式典の様子

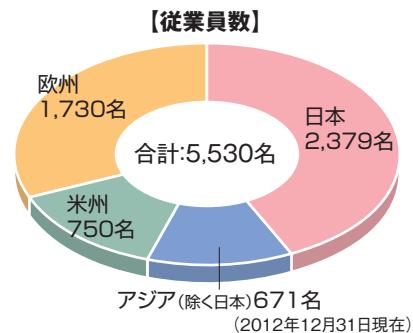


## 次なる60年に向けて

1953年1月26日、わずか8名の従業員とともにpHメーターのメーカーとして掘場製作所は誕生しました。その後、赤外線分析技術など数多くの基礎技術を活かし、分析機器メーカーとして「技術のHORIBA」と称されるブランドを築きあげ、近年では積極的なM&Aによる事業拡大を原動力に売上高、従業員数ともに成長させてきました。現在で

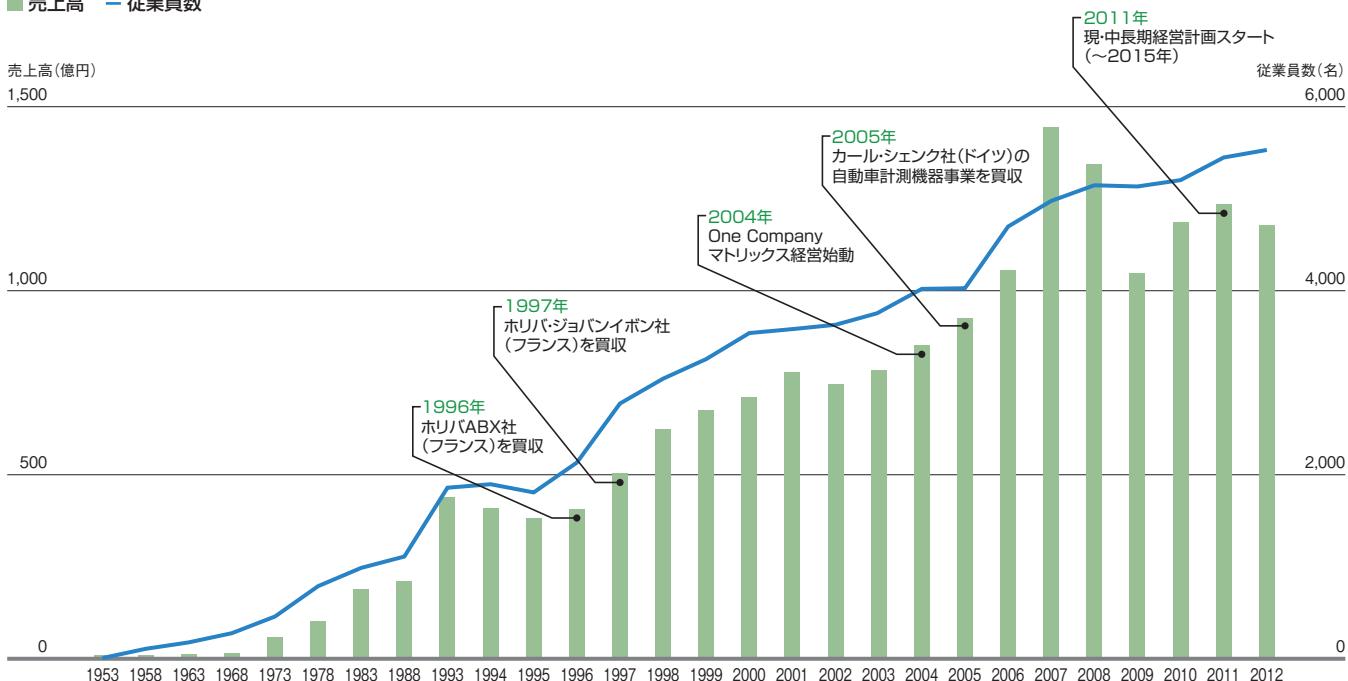
は、5,530名の従業員の過半数が外国人であり、世界26カ国に拠点を展開しています。

次なる60年に向けて、グローバルに展開するビジネス基盤を活かし、お客様に多彩な分析ソリューションを提案できる“総合分析企業”への進化を加速させていきます。



## 売上高・従業員数の推移

■ 売上高 — 従業員数





# グローバルな開発・生産体制の構築をめざして

チェコ

## チェコ「オルモウツ工場」本格稼働

チェコ共和国東部にあるホリバ・ヨーロッパ社オルモウツ工場では、2012年3月より、自動車のエンジンからタイヤに伝えられる動力などを測定するシャシーダイナモの生産を行っています。従来、シャシーダイナモを生産していたドイツの工場からオルモウツ工場へ生産機能を移管することによりコスト削減を図ります。MCT(自動車計測機器)事業の主力製品のひとつであるシャシーダイナモの製品競争力を向上させ、自

動車計測システム機器部門のさらなる収益力アップをめざします。



オープニングセレモニー(2012年10月)



オルモウツ工場

中国

## 中国での技術サポート体制を強化「掘場上海テクニカルセンター」



オープニングセレモニー(2012年9月)

2011年2月に完成した上海工場内に自動車のエンジン・車両試験のデモンストレーションや受託試験ができる「掘場上海テクニカルセンター」を開設しました。同センターには、自動車の燃費試験、排ガス試験の装置、車両の駆動系評価試験装置を新たに設置しました。

中国では、先進国や現地の自動車メーカーによるエンジン開発が本格化しており、最新の設備を備えた同センターでのデモンストレーションや受託試験を通して、中国市場向け製品の開発や販売拡大を加速させます。

## TOPICS

医用システム機器部門

## ペット用血糖値測定器を発売



動物専用血糖値測定器「アントセンスⅢ VET」

一滴の血液からペットの血糖値を素早く測れる測定器「アントセンスⅢ VET」を発売しました。5マイクロリットル\*の血液を測定部に滴下し、スタートボタンを押すだけで動物の血糖値を45秒で測ることができます。

近年、ペットの高齢化や室内飼育などが原因で、糖尿病などの生活習慣病を患うペットが増加しています。人間用の血糖値測定器をベースに動物医療の現場ニーズに合った“少量採血・迅速・高精度”で測定できる機器を動物医療市場へ先駆けて投入します。動物病院にはペットに負担をかけない高精度な臨床検査を、ペットの家族には迅速な検査結果を提供することで、動物医療の安心・安全に貢献していきます。

\*100万分の1リットルに相当。

科学システム機器部門

「LAQUA(ラクア)」ブランド  
第2弾を発売コンパクト水質計  
「LAQUAtwin」

水質分析計ブランド「LAQUA(ラクア)」の第2弾となる超小型水質測定器シリーズ「LAQUAtwin(ラクアツイン)」7モデル10機種を発売しました。LAQUAtwinは、野菜やみそ汁から土壌まで、幅広い試料のイオン濃度をわずか1滴の試料(0.3ミリリットル)で測ることができる測定器です。

葉野菜の苦味を示す硝酸イオン、普段の食生活でもなじみ深い塩分やナトリウム、カルシウム、カリウムなどのイオン濃度を測ることができ、どこでも手軽に高精度な測定ができるのが特徴です。食品の栄養管理、農業における土質管理や野菜の成育診断、バイオ・製薬実験での希少試料・固形試料測定など、さまざまな分野での活用を想定し開発しました。

お客様の使い勝手の良さと信頼性を第一に考えた水質分析を統合したブランドLAQUAシリーズを今後も引き続き充実させていきます。



## 世界に広がるHORIBAのネットワーク

HORIBAは、世界26カ国に拠点を設置し、グローバルにビジネスを展開しています。

「HORIBA Group is One Company.」の経営方針のもと、5事業部門（自動車計測、環境・プロセス、医用、半導体、科学）をバランスよく成長させ、3地域（アジア、米州、欧州）においてグループ一体となる経営をめざします。

**イギリス**  
 ホリバ・オートメーション社  
 ホリバ・インスツルメンツ社  
 ホリバ・UK社  
 ホリバ・ジョバンイボンIBH社

**ベルギー**  
 ホリバABX社 ベルギーオフィス

**オランダ**  
 ホリバ・オランダ

**ロシア**  
 ホリバ・ロシア社

**ドイツ**  
 ホリバ・ヨーロッパ社  
 ホリバ・ヨーロッパ・オートメーション・  
 ディビジョン社  
 ホリバ・ジョバンイボン社

**ルーマニア**  
 ホリバ・ルーマニア

**スウェーデン**  
 ホリバ・スウェーデン

**フランス**  
 ホリバ・フランス社  
 ホリバABX社  
 ホリバ・ジョバンイボン社

**ポーランド**  
 ホリバABX社

**チェコ**  
 ホリバ・ヨーロッパ社 ブラハオフィス  
 ホリバ・ヨーロッパ社  
 オルモウツ工場

**オーストリア**  
 ホリバ社

**イタリア**  
 ホリバ・ジョバンイボン社  
 ホリバABX社 イタリアオフィス  
 ホリバ・ヨーロッパ社 トリノオフィス

**スペイン**  
 ホリバABX社 スペインオフィス  
 ホリバ・ジョバンイボン社  
 スペインオフィス

**ポルトガル**  
 ホリバABX社 ポルトガルオフィス

**トルコ**  
 ホリバ・ヨーロッパ社  
 イスタンブールオフィス

**シンガポール**  
 ホリバ・インスツルメンツ社

**タイ**  
 ホリバABX  
 ダイアグノスティック社

**日本**  
 堀場製作所  
 堀場エステック  
 堀場アドバンステクノ  
 堀場テクノサービス

**韓国**  
 ホリバ・コリア社  
 ホリバ・オートモーティブ・  
 テストシステムズ社  
 堀場エステック・コリア社

**中国**  
 堀場儀器(上海)有限公司  
 堀場(中国)貿易有限公司  
 北京ホリバメトロン社

**台湾**  
 ホリバ・台湾社

**インド**  
 ホリバ・インド社

**ベトナム**  
 ホリバ・インスツルメンツ社  
 ハノイオフィス

**インドネシア**  
 ホリバ・インスツルメンツ社  
 ジャカルタオフィス

● 欧州 ● アジア ● 米州

1

## HORIBAグループ最大の量産工場 「阿蘇工場」が完成

グループ会社の堀場エステックの阿蘇工場内に、医用事業の主力製品である血液検査装置を主に生産する新工場が完成しました。これにより、阿蘇工場の延床面積は従来の2倍となる約1万5,300平方メートルに拡張され、HORIBAグループで最大の生産拠点となりました。今後は阿蘇工場を最先端の生産技術を確認する“マザー工場”と位置づけ、アジア圏における生産体制を強化していきます。



拡張後の阿蘇工場全景

2

## 「ホリバヨーロッパリサーチセンター」完成

フランスにあるホリバ・ジョバンイボン社がパリ郊外に建設を進めてきた欧州最大規模の光学分析装置の研究開発拠点「ホリバヨーロッパリサーチセンター」が完成しました。世界最高峰の技術と評価される「回折格子」、物質の化学組成の同定や分子構造を解析する「分光分析装置」などの研究開発を行う施設で、産学官の共同研究を通じて新製品や新技術の開発をめざします。



オープニングセレモニー（2012年10月）



カナダ

ホリバ・カナダ社



米国

ホリバ・インスツルメンツ社



ブラジル

ホリバ・ブラジル社  
ホリバTCA社

売上高

1,176億900万円 

(前期比4.7%減)

(単位:億円)



営業利益/営業利益率

117億5,100万円 

(前期比21.2%減)

■営業利益(単位:億円) ●営業利益率(単位:%)

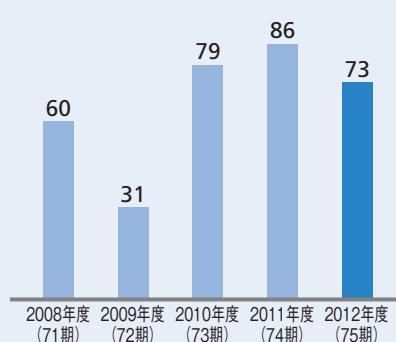


当期純利益

73億9,600万円 

(前期比14.6%減)

(単位:億円)



一株当たり純利益

174円 

(前期比14.6%減)

(単位:円)



一株当たり純資産

2,346円 

(前期比10.0%増)

(単位:円)



ROE(自己資本当期純利益率)

7.8% 

(前期比2.1ポイント減)

(単位:%)



## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

科目	2008年度 (71期)	2009年度 (72期)	2010年度 (73期)	2011年度 (74期)	2012年度 (75期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	75	137	119	69	133
投資活動によるキャッシュ・フロー	4	△ 41	△ 28	△ 61	△ 78
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 39	△ 47	△ 10	8	△ 33
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 19	1	△ 12	△ 3	8
現金及び現金同等物の期末残高	226	275	344	357	388

## » 配当金について

HORIBAは、オーナーの皆様への利益配分について基準配当性向主義を採用、個別（単体）純利益に対して基準配当性向30%を適用し、配当を実施する方針としてきました。2013年12月期以降は、企業規模の拡大や国内外のグループ会社の収益力向上などに対応し、証券市場や当社の経営の状況に応じて自社株買いについても機動的に実施することを視野に入れ、配当金額及び自社株式取得金額を合わせた「株主総還元額」（株主総配分額）を連結純利益の30%を目処に対処することに変更しました。

### 配当政策等の変更 (2013年12月期以降)

〈変更前〉 配当

個別純利益※ × 30%

※個別純利益にはグループ会社の前期利益からの配当が含まれます。

〈変更後〉 配当+自社株式取得金額

連結純利益 × 30%目処

#### 新しい政策の特徴

- 1 証券市場や当社の経営の状況に応じて機動的に自社株買いを実施するため、「総還元性向」を基準とします。
- 2 総還元額を連結純利益の30%を目処として柔軟に対応します。

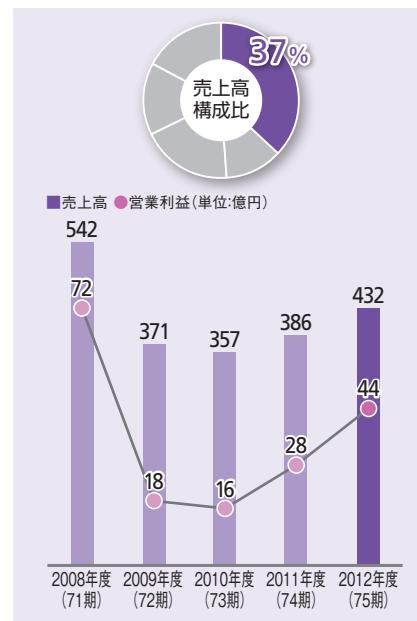
## 自動車計測システム機器部門

自動車の開発に欠かせない各種分析装置を自動車メーカーなどに供給。中でもエンジン排ガス計測システムは、その性能とサービス面の信頼性により各国の認証機関で採用されています。

売上高 **432億3,000万円**   
(前期比11.8%増)

欧州では為替の円高推移により販売が減少したものの、米国や日本では自動車メーカーの設備投資や研究開発投資に回復感が見られたほか、アジアでも投資拡大により販売が増加しました。また、主力のエンジン排ガス計測システムの販売増加や、MCT（自動車計測機器）事業におけるコストダウンが奏功したことなどにより特に年後半に収益性が改善しました。

この結果、売上高は前期比11.8%増の432億3,000万円となり、営業利益は同55.7%増の44億1,200万円となりました。



## 環境・プロセスシステム機器部門

大気・水質・土壌に幅広く対応する分析・計測機器をグローバルに供給。電力、鉄鋼、化学、石油精製プラント、製紙、食品などの産業分野において、環境の汚染防止に最適な機能を提供しています。

売上高 **137億900万円**   
(前期比5.8%減)

火力発電所向けの煙道排ガス分析装置や、水質分析装置などの各種環境規制に対応した製品群の販売は底堅く推移しましたが、東日本大震災後に需要が急拡大した環境放射線測定器の販売は、第2四半期以降徐々に減少しました。

この結果、売上高は前期比5.8%減の137億900万円となり、営業利益は同35.1%減の16億4,200万円となりました。



## 医用システム機器部門

自動血球計数装置や血糖値検査装置、それらに使用される検査試薬を開業医、検査センター、病院向けに提供。人間用だけでなく動物用の自動血球計数装置や血糖値検査装置もラインアップしています。

売上高

**224億円**   
(前期比4.6%減)

アジア各国で血球計数装置の販売は堅調に推移したものの、円高などにより、欧州や米州での売上高が減少しました。

この結果、売上高は前期比4.6%減の224億円となり、営業利益は同21.7%減の24億7,800万円となりました。

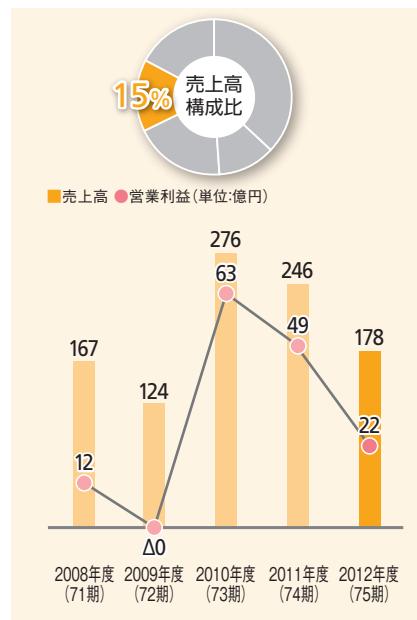
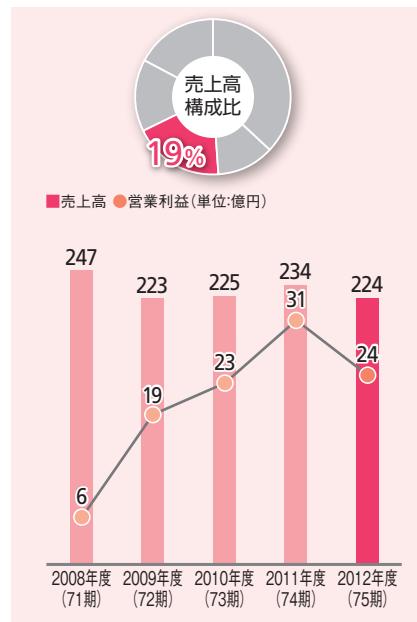
## 半導体システム機器部門

半導体やLED（発光ダイオード）、太陽電池の製造工程で使われるガスや液体の流量制御装置（マスフローコントローラー）、洗浄工程用の薬液濃度モニターなどを提供しています。

売上高 **178億6,100万円**   
(前期比27.7%減)

前半は顧客である半導体製造装置メーカーの一部に生産回復が見られ、主力製品であるマスフローコントローラーや薬液濃度モニターの販売が増加しましたが、年後半はお客様メーカーの生産調整などの影響により販売が減少し収益性も大幅に悪化しました。

この結果、売上高は前期比27.7%減の178億6,100万円となり、営業利益は同53.9%減の22億7,400万円となりました。



## 科学システム機器部門

X線を用いた固体分析や分子構造を解析する分光分析などあらゆる分析・計測のニーズに応える製品を販売。未来のハイテク製品や新素材を生み出す最先端の研究者たちを積極的にサポートしています。

売上高 **204億600万円**   
(前期比7.4%減)

新発売したpHメーターなどの国内での販売は底堅く推移しましたが、各国での政府予算削減の影響を受けてホリバ・ジョバンイボン社製品の販売が減少したほか、円高により売上高が円換算額で目減りしました。

この結果、売上高は前期比7.4%減の204億600万円となり、営業利益は同34.2%減の9億4,300万円となりました。



## CSRトピックス

### ハリケーン「サンディ」の被災地への募金活動を実施

2012年10月29日に米国ニュージャージー州南部に上陸した過去最大級のハリケーン「サンディ」により、同州は大きな被害を受け、グループ会社であるホリバ・インスツルメンツ社の拠点においても数名の従業員が自宅（床上）や自動車の浸水被害を受けました。そこで、米国だけでなく国内HORIBAグループでも被災地支援のための募金を呼びかけ、従業員からの義援金169万円と会社からの義援金166万円の合計335万円（40,000ドル）を米国ニュージャージー州に寄付しました。

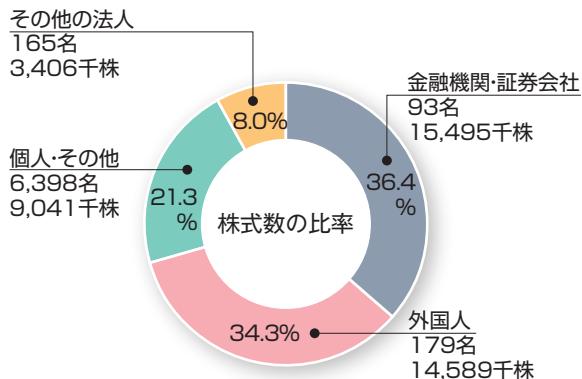


社内に設置された募金箱

## 株式の状況 (2012年12月31日現在)

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式総数	42,532,752株
株主数	6,835名

## ● 株主構成



## 海外でのIR活動

HORIBAでは、北米や欧州を中心に年に3回程度、海外の投資家を訪問して業績や経営方針などについて説明を行っています。HORIBAの海外での売上高は全体の6割以上を占めており、ビジネスで主戦場となる海外においてHORIBAの企業価値がしっかりと評価されることがグローバル企業の本質であると考え、IR活動に努めています。



北米での社長によるIR活動の様子

## 株価チャート (週末値)



# オーナーメモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日 定時株主総会 期末配当	毎年12月31日
中間配当	毎年6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 Tel:0120-782-031 (フリーダイヤル)
(電話照会先)	取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で 行っております。
上場証券取引所	東京(第1部)・大阪(第1部)
証券コード	6856
公告方法	電子公告とし、当社ホームページ( <a href="http://www.horiba.co.jp/">http://www.horiba.co.jp/</a> )に掲載いたします。 ただし、電子公告によることのできない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

## 環境フォト・コンテスト2013



【表紙写真】

堀場製作所賞  
「地球のささやき」優秀賞 受賞作品

「蜷劇場の幕開け」 澤田 茂

### ●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設された方は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### ●未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### ●「配当金計算書」について

配当金支払いの際、送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りのオーナーの皆様につきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

\*確定申告をされるオーナーの皆様は、大切に保管ください。

### 株式会社 堀場製作所

京都市南区吉祥院宮の東町 2 番地

〒601-8510 Tel:(075) 313-8121 <http://www.horiba.co.jp/>



### ●シンボルマークのデザインについて

堀場製作所 創立60周年記念事業のテーマは「TASUKI~おもいをつなぐ~」。コーポレートカラーと5つの事業のイメージカラーで配色された1本のタスキの「60」には「おもいをつなごう。先達から次世代へ、世界へ。」というメッセージが込められています。

この印刷物は、環境に配慮し植物油インキを使用しています。

